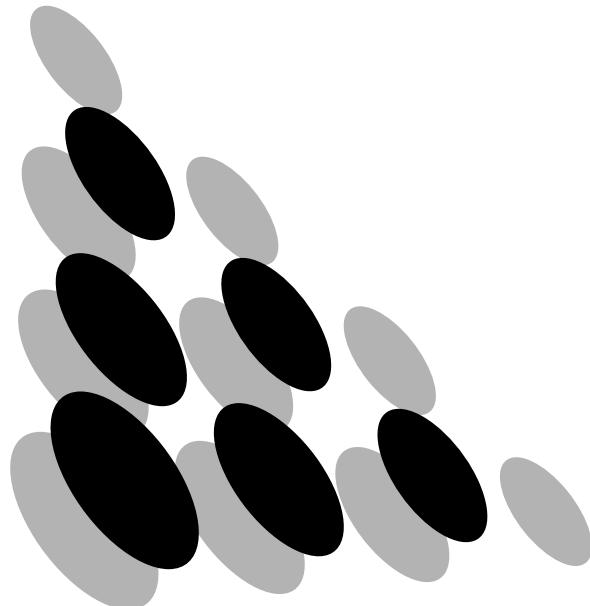


# CELSIUSシリーズ

内蔵DVD-ROM ドライブユニット  
(CLECD22)  
基本CD-ROM ドライブ交換機構-DVD  
(CL1CD22)

取扱説明書



FUJITSU



# はじめに

---

このたびはCELSIUSシリーズ用内蔵DVD-ROMドライブユニット（CLECD22/CL1CD22）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は内蔵DVD-ROMドライブユニット（以下、本製品）の基本的な取り扱い方を解説しています。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2001年8月

## 梱包物を確認してください

---

内蔵DVD-ROMドライブ（CLECD22/CL1CD22）

保証書

取り付けネジ（2個）

取扱説明書（本書）

万一、不備な点がございましたら、恐れ入りますがお買い求めの販売店または弊社担当保守員までお申し付けください。

なお、基本CD-ROMドライブ交換機構-DVD（CL1CD22）には保証書および取り付けネジは添付されておりません。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社 2001

# 安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読し理解された上で本製品をお使いください。

また、本書は、本製品の使用中にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

本装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

## ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

## ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

感電



で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容(左図の場合は感電注意)が示されています。

分解



で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が示されています。

プラグ



で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が示されています。

## ⚠️ 警告

窒息



梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。  
窒息の原因となります。

感電



異物 水・金属片・液体などが装置の内部に入った場合は、ただちにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、弊社担当保守員にご連絡ください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

感電



開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。

感電



装置をお客様自身で改造しないでください。  
感電・火災の原因となります。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

# 目次

---

<b>1 本製品の特徴 .....</b>	<b>5</b>
1.1 サポートメディア .....	5
<b>2 各部の名称 .....</b>	<b>6</b>
2.1 動作ランプ .....	7
2.2 挿入／排出ボタン .....	7
2.3 メディアの手動取り出し .....	8
<b>3 本製品の取り付け .....</b>	<b>9</b>
3.1 ジャンパスイッチの設定 .....	9
3.2 DVD-ROMドライブの取り付け .....	9
3.3 ケーブルの接続 .....	9
<b>4 取り扱い上の注意 .....</b>	<b>10</b>
<b>5 CDおよびDVDメディアの取り扱いについて .....</b>	<b>11</b>
<b>6 仕様 .....</b>	<b>12</b>

# 1 本製品の特徴

本製品は、ATAPIインターフェースを持つ48倍速DVD-ROM ドライブで、DVD-ROM / DVD-R / CD-ROM / CD-Rなどのデータの読み込みやオーディオCDの再生が可能です。また、RPC-II機能（リージョンコードを5回まで変更可能とする機能）およびDVDソフトの不正コピー防止のための暗号アルゴリズムCSS（Contents Scramble System）に対応しています。

## 1.1 サポートメディア

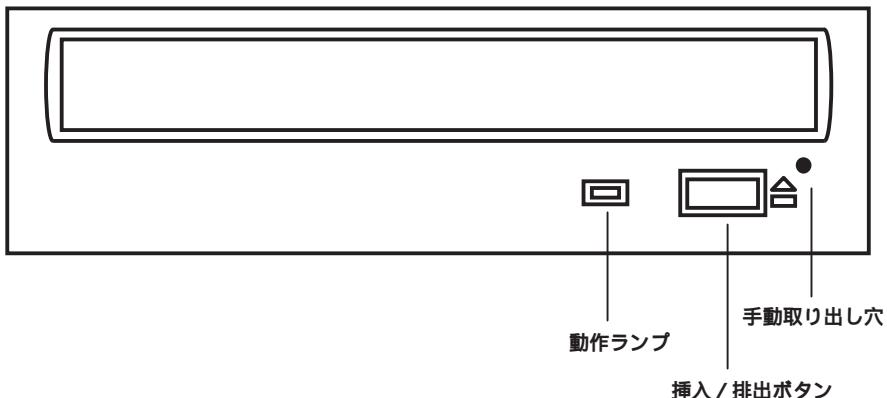
---

本製品では、8cm CD、12cm CDおよびDVDが使用できます。また、以下のDVD/CD フォーマットおよびメディアに対応しています。

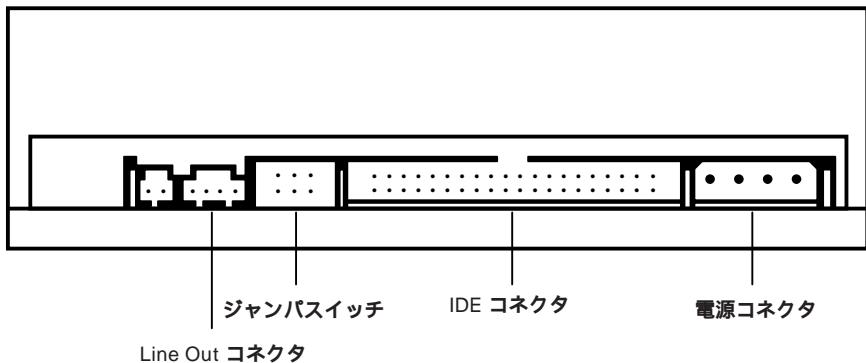
DVD-5/9/10/18/R  
CD-Digital Audio  
データCD-ROM ( ISO9660 モード 1および2 )  
CD-R/RW  
ビデオCD  
CD-I/TEXT  
CD-ROM XA ( モード2、フォーム1および2 )  
マルチセッション ( Photo-CD、CD-EXTRA )

## 2 各部の名称

前面



背面



## 2.1 動作ランプ

ドライブの状態を示す動作ランプがドライブ前面にあります。

ランプの状態	ドライブの状態
消灯	メディアが入っていないか、メディアの読み込み準備がで きています。
低速点滅	オーディオCDを再生中です。
高速点滅	メディアが挿入され、読み込み準備中です。
点灯	ドライブがメディアにアクセスしています。

### Point

メディアを挿入してからしばらくたってもランプが消灯しない場合、そ  
のメディアは汚れているか、傷がある可能性があります。メディアを確  
認してください。

## 2.2 挿入 / 排出ボタン

挿入 / 排出ボタンを押すと、トレイが開閉します。

### △ 注意

以下の項目に注意してメディアの挿入および排出を行ってください。

メディアを挿入するときは、ラベル面を上にして挿入してください。

ドライブ前面の動作ランプが点灯している場合、ドライブがアクセスしていま  
す。動作ランプが消灯するまで待ってから挿入 / 排出ボタンを押下してく  
ださい。

ソフトウェアからロックされていない場合で、かつトレイが開かない場合、ド  
ライブから正しく排出できません。手動取り出し穴にピンを差し込んで、手動  
でメディアを取り出してください。

1秒以上押下しないでください。以下の説明のように、回転速度が低下してし  
まうことがあります。

また、このボタンは振動が発生した場合に回転速度を調整することができます。2秒  
以上押下すると回転速度が低下します。回転速度が低下した状態でトレイを開閉す  
ると、通常速度に戻ります。

## 2.3 メディアの手動取り出し

電源が故障した場合や、メディアの取り出しができないなどの現象が発生した場合でも、以下の手順でメディアを手動で取り出すことができます。

- ( 1 )ワークステーション本体の電源を切斷します。
- ( 2 )細いワイヤで手動取り出し穴を強く押します。
- ( 3 )トレイのロックが解除され、開いたらメディアを取り出します。

### 3 本製品の取り付け

#### ⚠ 注意

詳細については、ワークステーション本体添付のハードウェアガイド「安全上のご注意」をお読みください。

本製品の取り付けは、下記の手順で行います。

- ( 1 ) ジャンパスイッチの設定
- ( 2 ) DVD-ROM ドライブの取り付け
- ( 3 ) ケーブルの接続

#### 3. 1 ジャンパスイッチの設定

本装置の背面には、以下のようなジャンパがあります。ここでは、マスタ / スレーブの設定ができます。

設定	ジャンパ1 (MASTER)	ジャンパ2 (SLAVE)	ジャンパ3 (CSEL)
マスタ	ショート	オープン	オープン
スレーブ	オープン	ショート	オープン

#### Point

本設定は、お客様の環境によって異なります。同一ケーブル上の他の装置と設定が重複しないように設定してください。また、ジャンパ3 (CSEL) は常にオープンとしてください。

#### 3. 2 DVD-ROM ドライブの取り付け

本製品は、ワークステーションの前面のファイルベイに取り付けます。接続位置、接続方法の詳細については、ワークステーション本体添付のハードウェアガイド「各種ドライブの取り付け」を参照してください。

#### 3. 3 ケーブルの接続

本製品の背面には、各種コネクタがあります。

電源コネクタには4ピン電源ケーブルを接続します。

IDEインターフェースコネクタには40ピンIDEケーブルを接続します。

Line Outコネクタには4ピンオーディオケーブルを接続することができます（CD-ROMドライブ未接続時に、本コネクタを使用します）。

# 4 取り扱い上の注意

## ⚠ 注意

故障などの原因となりますので、以下の点にご注意ください。

本製品の分解や、解体はしないでください。

以下の環境 / 場所でのご使用、保管は避けてください。

- ・極端な低温 / 高温 / 多湿環境および温湿度変化の激しい環境
- ・磁気の影響を受けやすい場所
- ・衝撃や振動の加わる場所
- ・ゴミや塵埃の多い環境
- ・直射日光のある場所および発熱器具のそば

寒い場所から暖かい場所に移動して室温を急激に上げた直後など、結露する可能性がある状態ではお使いにならないでください。結露したままお使いになると、本製品やメディアを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、しばらく室温で放置してから電源を入れてください。

ドライブにメディアを入れたままにすると、記録面への埃の付着や傷の原因となります。ワークステーション本体の電源を切るときは、メディアを取り出してください。

ご使用にならない場合は、本製品からメディアを取り出してください。また、メディアを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。

トレイを無理に押し込んだり引き出したりしないでください。

内部に液体や金属などの異物が入った状態で使用しないでください。

本製品前面の汚れは、やわらかい布で乾拭きするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性のものは避けてください。

ワークステーション本体のカバーが閉じている状態でソフトウェアからのメディア排出は行わないでください。異常音などの故障の原因となります。

市販のクリーニングCDは使用しないでください。本装置のレンズを傷つけ、使用できなくなる場合があります。

本製品は定期的なお手入れは必要ありませんが、1ヶ月に1度程度、やわらかい布などでトレイを軽く拭くことを推奨します。

本製品を運搬する場合に備えて、梱包箱は保管してください。

本製品は、オフィス環境で使用するための電子機器を含むデータ処理装置に関する安全法規に準拠しています。不明な点がございましたら、担当営業員までお申しつけください。

消費電力および環境条件に注意してください。詳細はワークステーション添付のハードウェアガイドを参照してください。

## 5 CDおよびDVDメディアの取り扱いについて

### ⚠ 注意

データが正しく読めなくなる可能性がありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

メディア表面には触れないでください。必ず縁を持つようにしてください。

傷、歪などによる損傷を避けるため、使用しない場合は専用ケースに保管してください。

埃の多い場所、直射日光のあたる場所、および高温多湿の環境はさけて保管してください。

品質の悪いメディアを使用すると、振動などが発生し読み取りエラーとなることがあります。この場合、2秒以上挿入／排出ボタンを押し続けて回転速度を下げてください。なお、トレイを一度開くと元に戻ります。

メディアを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。

メディアを入れるとき、無理に押し込まないでください。

## 6 仕様

品名	内蔵DVD-ROM ドライブユニット 基本CD-ROM ドライブ交換機構-DVD
型名	CLECD22 / CL1CD22
転送レート	8.9 ~ 21.6 MB/s ( DVD 5.0 ~ 16倍速 ) 3.1 ~ 8.2 MB/s ( CD 20.7 ~ 48倍速 )
インターフェース	ATAPI ( ATA Packet Interface )
バッファ容量	128 KB
環境条件 ( 動作時 )	温度 15 ~ 35 湿度 8 ~ 80%
最大湿球温度	27
外形寸法	146mm( W )×193mm( D )×41.5mm( H )
最大消費電力	14.3W ( CD )、16.4W ( DVD )
質量	970g

---

CELSIUSシリーズ  
内蔵DVD-ROM ドライブユニット  
(CLECD22)  
基本CD-ROM ドライブ交換機構-DVD  
(CL1CD22)  
取扱説明書  
P3FY-1700-01-00  
発行日 2001年8月  
発行責任 富士通株式会社  
Printed in Japan

---

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。  
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の  
権利の侵害については、当社はその責を負いません。  
無断転載を禁じます。  
落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU<sup>∞</sup>

このマニュアルは再生紙を使用しています。